ユーザーズガイド

CREATIVE®

MuVo® Slim

ユーザーズガイド

Creative MuVo Slim

1.1 版

2004 年 9 月

目次

目次

安全および使用上の注意

はじめに

1 プレーヤーについて

2 ご使用の準備

3 音楽やファイルの転送

4 プレーヤーの使い方

付録

A 技術仕様

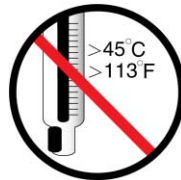
B 画面上の図およびアイコンについて

C FAQ およびトラブルシューティング

安全および使用上の注意

安全および使用上の注意

プレーヤーの取り扱い

プレーヤーを取り扱う際は、以下の取り扱い手順を必ず守ってご使用ください。

45 ℃以上の場所で保管または使用しないでください。

強い力や衝撃を与えないでください。

熱にさらしたり燃やしたりしないでください。

濡らさないでください。

強い磁界中に置かないでください。

分解しないでください。

はじめに

はじめに

このたびは Creative MuVo Slim をお買い上げいただきありがとうございました。

Creative MuVo Slim プレーヤーは高速な USB 2.0™ インターフェースを備え、音楽やその他のデータファイルを高速に転送することができます。プレーヤーにはマイクロフォンと FM ラジオチューナーが内蔵されています。マイクを使えば会議や学校の講義などの録音を行うことができ、FM チューナーを使えば FM ラジオを聴いたり、FM ラジオの録音も行ったりすることができます。

Creative MuVo Slim プレーヤーは、MP3、および WMA* 形式の音楽の再生に対応しています。ボイスレコーディングや FM ラジオを録音したものは ADPCM 形式で保存されます。プレーヤーにはイコライザ機能が内蔵されており、予め用意されたプリセットとユーザーが任意に指定できる、5 バンドのカスタムイコライザが搭載されています。ソースに合わせたお好みの設定をお試し下さい。

* *著作権保護付きの WMA ファイルについては C-5 ページを参照して下さい。*

ご使用の前に

パッケージ内容

パッケージの内容は、製品を購入された地域によって多少異なる場合があります。

- Creative MuVo Slim プレーヤー（USB フラッシュメモリーと 1 個の電池パックで構成されています）
- ポーチ
- インストール CD（製品保証書は PDF 形式で収録されています）*
- クイックスタートガイド
- ステレオヘッドフォン
- リチウム電池 1 個
- USB ケーブル

※ 製品保証書は下記のディレクトリに収録されています。閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。
D:¥Warranty¥Asia¥Japanese¥Warranty.pdf

ソフトウェア

- Creative Media Detector
- Creative MediaSource
- Adobe Acrobat Reader

Creative Media Detector

Media Detector を使うと、さまざまな内部メディアまたは外部メディアから、マルチメディアコンテンツに簡単にアクセスできます。異なる形式のファイルを再生するために、いろいろなソフトウェアを探索する必要はもうありません。

Media Detector は、CD、VCD、および Creative NOMAD MP3 プレーヤーなどの外部機器が挿入または接続されたことを自動的に認識します。そして、認識されたと同時に、メディアの内容が自動的に再生されます。

Creative MediaSource

Creative MediaSource には、プレイヤーやオーガナイザなど、いくつかのコンポーネントが含まれています。Creative MediaSource についての詳細と使用方法は、Creative MediaSource のオンラインヘルプを参照して下さい。

Creative MediaSource プレイヤー

Creative MediaSource プレイヤーは Creative MuVo Slim を有効に活用できるように、さまざまな便利な機能（たとえばより多くのトラックをプレイヤーに転送できるようになる、WMA 方式を使ったトラック管理システムである 「SMARTFIT」）が盛り込まれています。Sound Blaster Audigy 2 シリーズをお持ちの場合は、音楽 CD、MIDI、MP3、WAV、WMA 等の音楽メディア、AVI や MPEG-1 のようなムービーファイルの再生もできます。また、Creative MediaSource を使って録音も可能です。

Creative MediaSource オーガナイザ

Creative MediaSource オーガナイザは Creative MediaSource プレイヤーを拡張したものです。コンピューターに収録された、多数のトラックを管理するのに便利です。Creative MediaSource オーガナイザを使ってできることは：

- 音楽 CD からデジタルオーディオファイルの作成（MP3 形式では最大 320kbps まで、WMA 形式では最大 160kbps まで）
- Creative MuVo Slim にオーディオファイルを転送する際の、タグ情報の設定
- より多くのトラックをプレイヤーに転送できるようになる、WMA 方式を使ったトラック管理システムである 「SMARTFIT」の設定
- コンピューターと Creative MuVo Slim それぞれの内容を確認できる個別のウインドウにより、より簡単にになったファイル管理やファイル転送
- キーワードをタイプするだけですぐお求めのファイルを検索できる、高機能な検索機構

Adobe Acrobat Reader

Adobe® Acrobat® Reader® は、すべての主要なコンピュータプラットフォームで Adobe Portable Document Format (PDF) ファイルの参照および印刷を可能にするソフトウェアです。

必要なシステム

インストール **CD** に含まれるソフトウェアアプリケーションは、基本機能よりも高い動作環境を要求する場合があります。詳細は各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

- Microsoft® Windows® 98 SE/2000/Me/XP SP1
- Intel® Pentium® II 350 MHz、AMD® K6-2® 450 MHz 以上を搭載する PC/AT 互換機 (MP3 のエンコードには Pentium III 450 MHz 以上を推奨)
- デジタルオーディオリッピング対応 CD-ROM ドライブ
- USB 1.1™ 規格に準拠した、空き USB ポート 1 つ
- Windows 98SE/Me では 64MB 以上、Windows 2000/XP では 128MB 以上のシステムメモリー
- 空き容量 30MB のディスクスペース（オーディオコンテンツの保存にはさらに多くの容量が必要です）
- マウス
- SVGA 対応のグラフィックアダプターとモニタ（256 色、解像度 800 × 600 以上）

表記書式

本書においては、便利な情報や重要な情報を強調するために、下記のアイコンを使用しています。

ヒント 機能に関する便利な方法やヒントです。

メモ 機能に関する追加情報やより重要な情報です。

注意 プレーヤーの正しい使用方法です。この情報に従って危険な状況を回避してください。

警告 ユーザーが怪我をしたり、プレーヤーが破損するような危険の可能性に対する警告です。

Web サイト情報

Creative MuVo Slim 用の最新ドライバは、**Creative MuVo Slim** 専用です。決して **NOMAD MuVo** には使用しないで下さい。

http://japan.creative.com/ を定期的にご覧になり、次の項目に関する最新情報について確認してください。

- デバイスドライバやファームウェアの更新
- ヒントとコツ
- FAQ
- トラブル対策
- 最新のマニュアル

オンライン登録

creative.com/register/japan またはインストール CD の登録プログラムから製品を登録すると、以下のような特典を受けることができます。

- Creative 社からのサービスおよび製品サポート
- プロモーションおよびイベントに関する最新情報の特別なお知らせ

1 プレーヤーについて

プレーヤーについて

各部の名称および機能

ボリュームダウンボタン

ボリュームアップボタン

再生 / 一時停止ボタン

スクローラ

液晶ディスプレイ

上面

前面

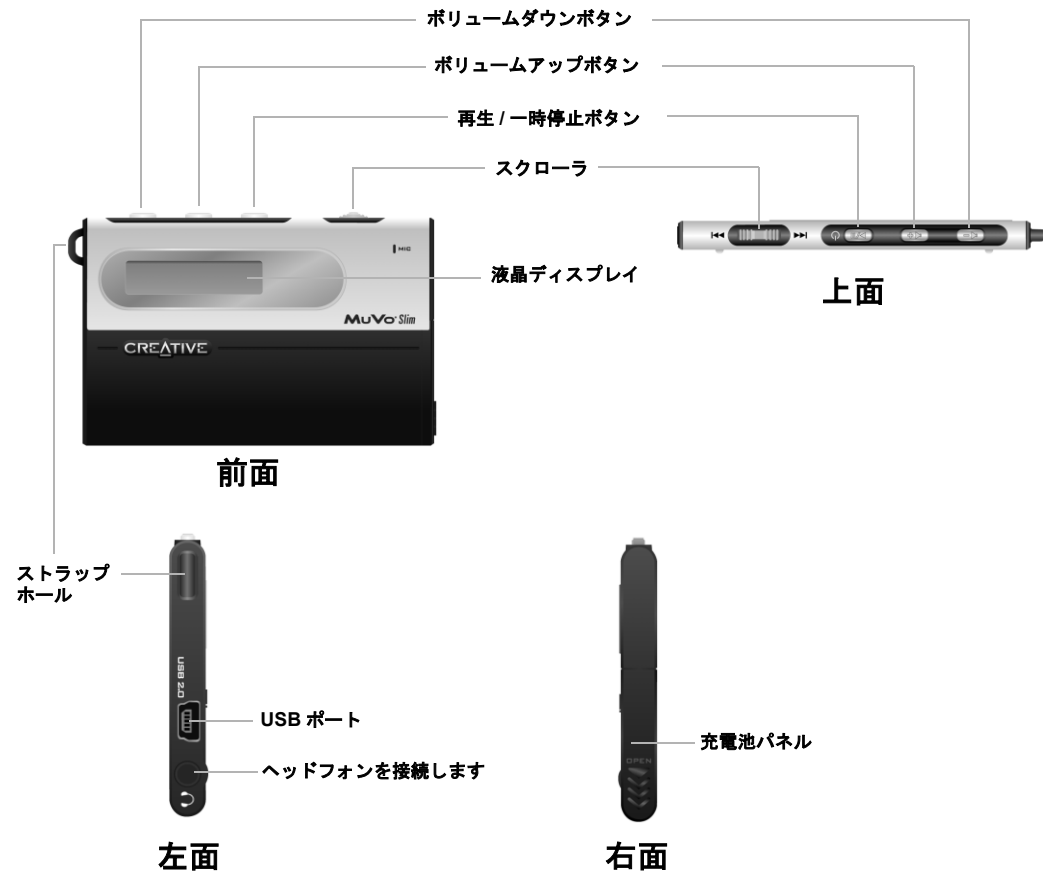
ストラップホール

USB ポート

ヘッドフォンを接続します

充電池パネル

左面

右面

ボタン	機能	使用時のヒント
再生 / 一時停止	❍ プレーヤーの電源をオン / オフします ❍ バックライトを点灯させます ❍ 再生を開始、一時停止または継続します ❍ FM ラジオモード時に、スクローラの動作（プリセットモードとサーチモード）の切り替え	❍ プレーヤーの電源がオンまたはオフになるまで押し続けます ❍ プレーヤーがロックされている際にボタンを押すと、バックライトが点灯します
ボリュームアップ	❍ 音量を上げます	❍ 押し続けると音量が徐々に上がります
ボリュームダウン	❍ 音量を下げます	❍ 押し続けると音量が徐々に下がります
スクローラ	❍ 前の、または、次のトラックに進みます ❍ トラック内の前の部分に移動したり、先の部分へ進みます ❍ メニューをスクロールします ❍ メニューオプションを選択します	❍ 再生中にスクローラを回して、前の、または、次のトラックに進みます ❍ 再生中にスクローラを回して静止し、トラック内の前の部分に移動したり、先の部分へ進みます ❍ スクローラを回してメニューオプションをスクロールし、スクローラを押してオプションを選択します。この動作は「スクロールセレクト」とも呼びます

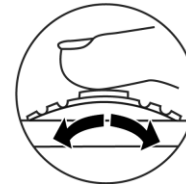
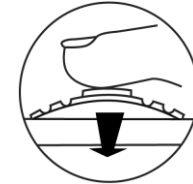
スクローラの使用

スクロールセレクト

「スクロールセレクト」するにはスクローラを回して項目を選び、スクローラを押して決定します。

クローラは Creative MuVo Slim で最も重要な機能の一つです。本書では、「スクロールセレクト」という指示があったら、スクローラを上下に回して項目の間を移動、スクローラを押してその項目決定することを意味します。

Scroller.

スクローラ（側面図）

スクローラを回してオプションをスクロールします

スクローラを押してオプションを選択します

ユーザーは表示されている画面に応じて異なるオプションを選択できます。またリストや確認ボックスからもオプションを選択できます。

メニューオプションの選択

スクローラを使用してメニュー項目を選択できます。例えば [メインメニュー] 画面が表示されている場合：

メインメニュー] 画面から [再生モードオプション] 画面への切り替え

1. スクローラを使用してメニュー内を左右にスクロールします。
2. スクローラを押してメニュー項目を選択します。

2 ご使用の準備

ご使用の準備

ソフトウェアのインストール

Windows 98 SE をお使いの場合、トラックやファイルをプレーヤーに転送するには、ドライバをインストールする必要があります。

Windows 2000/XP をお使いの場合、インストール CD からソフトウェアをインストールするには、管理者 (Administrator)、または管理者権限を持ったユーザーで行う必要があります。詳細は Windows のヘルプ等を参照して下さい。

Creative MuVo Slim にはオーディオトラックの作成、ミュージックライブラリの管理が簡単にできるソフトウェア、および Windows 98 SE 用ドライバが付属しています。

1. プレーヤーがコンピュータに接続されていないことを確認してください。
2. インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
   ディスクは Windows の自動再生モードに対応しているため自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM ドライブの自動挿入通知機能を有効にする必要があります。詳細については、C-1 ページの「自動再生」を参照して下さい。
3. 地域に「Asia」を選択し、言語に「日本語」を選択します。
4. 「MuVo Slim ソフトウェアのインストール」を選択します。
5. [OK] をクリックします。
6. 画面の指示に従います。
7. コンピュータを再起動するように指示された場合は、[はい、ただちにコンピュータを再起動します。] を選択します。
8. [完了] をクリックします。
9. コンピュータを再起動します。

バッテリーの充電

バッテリーカバーを開閉する際は、カバーに無理に力をかけないように注意して下さい。また、バッテリーカバーが十分スライドされたかどうかを確認して下さい。

バッテリーの充電を行うには、付属の USB ケーブルを用いてコンピューターの USB ポートに直接接続するか、別売りの USB バッテリーチャージャーを使います。

1. プレーヤーに付属のバッテリーを取り付けてください。

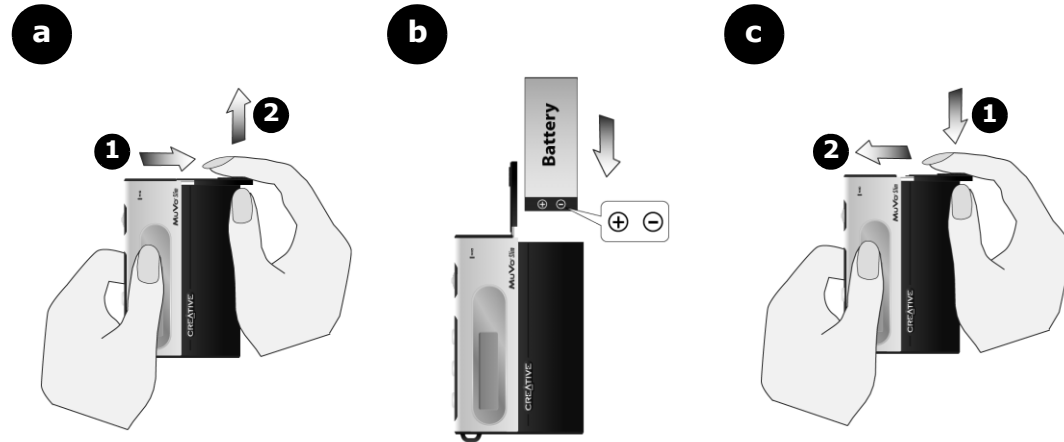



図 2-1

プレーヤーの充電は、電源供給可能な **USB** ハブを介しても行えますが、もしハブを使った際に充電中のアイコンが表示されない場合は、コンピューターに直接接続して充電を行って下さい。

2. 付属の USB ケーブルを用いて、プレーヤーをコンピューターの USB ポートに接続します（図 2-2 を参照）。 が液晶画面に表示されます。

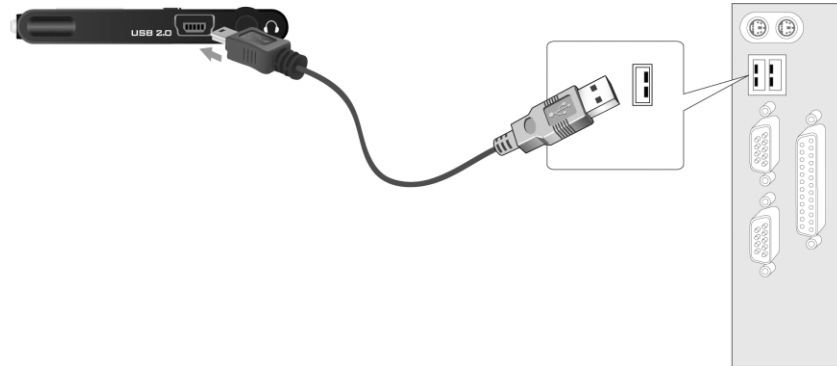



図 2-2

3. が液晶画面に表示されるまで、バッテリーを充電してください。初回の充電の際には、完了までおよそ 3 時間かかります。
4. プレーヤーをコンピューターから取り外します。

プレーヤーをコンピューターから取り外す際は、正しい手順で行って下さい。詳細は **C-3** ページの「使用方法」を参照して下さい。

電源およびレベルの表示

プレーヤーには、電池の状態に応じて以下のアイコンのいずれかが表示されます。詳細については、**C-3** ページの「使用方法」を参照して下さい。

プレーヤーには、電池の状態に応じて以下のアイコンのいずれかが表示されます。

アイコン	意味	メモ
■■■	❍ 電池には充分な電力があります。	
■■	❍ あと 6 時間の再生が可能です。	
■	❍ あと 3 時間の再生が可能です。	❍ 早めに電池を交換して下さい。

3 音楽やファイルの転送

音楽やファイルの転送

転送された音楽を聴くには、プレーヤーを **Music** モードに設定する必要があります。詳細については、**4-1** ページの「プレーヤーの使い方」を参照して下さい。

コンピューターからプレーヤーを取り外す前に、プレーヤーが安全に取り外せる状態になっているかを確認して下さい。（**C-3** ページの「使用方法」を参照して下さい）

インストール CD には Creative MediaSource が収録されています（詳細は 2-1 ページの「ソフトウェアのインストール」を参照して下さい）。

Creative MediaSource はお使いのコンピューターとプレーヤーの間で音楽の管理や転送を行うのに最適なソフトウェアです。この項では音楽 CD のリッピング、音楽トラックやデータファイルの転送、再生リストの作成とその編集やトラック情報の編集といった基本的な使用方法を紹介します。Windows のエクスプローラでトラックやファイルの転送を行うこともできます。

プレーヤーにさらに音楽トラックをダウンロードして追加するには、インターネットの音楽サイトから音楽トラックをダウンロードするか、音楽 CD からリッピングしてコンピュータ取り込みます。

プレイヤーにオーディオトラックを転送するには、ソースを MP3、または WMA 形式に変換し、Creative MediaSource オーガナイザでプレーヤーに転送します。

音楽以外のデータファイルもプレーヤーに転送することができます。たとえば、お使いのコンピューターから別のコンピューターに大きな動画ファイルなどを転送したい場合に便利です。

音楽やファイルの転送

Creative MediaSource、または、Windows Explorer を使えば、コンピューターとプレーヤーの間で音楽の転送を相互に行うことができます。

インストールしたアプリケーションを使用するには、コンピュータを再起動する必要があります。

Creative MediaSource を使用する場合

1. Creative MediaSource オーガナイザが起動していない場合は起動します。
2. [転送パネルの表示 / 非表示] ボタンをクリックします。
3. [ソース] ウィンドウで、転送元の機器を選択します。
   PC ミュージックライブラリからポータブルハードディスクにファイルを転送する場合、[PC ミュージックライブラリ] を選択します。
4. 画面中央の [コンテンツ] ウインドウにて、転送したいトラックを選択します。
   複数のトラックを選択するには、Ctrl キーを押しながらトラックをクリックします。
5. [転送先] ウィンドウで [ソース] バーをクリックし、転送先を選択します。
6. 矢印の付いた [転送] ボタンをクリックし、選択したトラックを転送します。
   [転送リスト] ウインドウが表示され、現在の転送状態を確認することができます。

Windows エクスプローラを使用する場合

著作権保護（**DRM**）の付いた **WMA** 形式のファイルは **Windows** エクスプローラからは転送することができます。転送には **Windows Media Player**、または **Creative MediaSource** を用いて下さい。

1. デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンを右クリックし、[エクスプローラ] をクリックします。
2. トラック、または、ファイルをプレーヤーにドラッグ & ドロップします。

Creative MediaSource

この項では Creative MediaSource の基本的な使い方について紹介します。詳細は Creative MediaSource のオンラインヘルプを参照して下さい。

トラック情報を編集する

トラック情報が不完全であったり誤っている場合は、情報を編集する必要があります。

各トラックのトラック情報を編集するには、

1. Creative MediaSource オーガナイザが起動していない場合は起動します。
2. [コンテンツ] ウインドウから、編集を行いたいトラックを選択し、右クリックします。
3. メニューから [プロパティ] を選択します。
4. [タグ情報] タブをクリックして選択します。
5. [内容] コラムの中から、変更したいトラック情報のコラムをクリックします。
6. クリックしたコラム全体がハイライトされ、トラック情報を入力できるようになります。
7. ステップ 5 ～ 6 を繰り返して、他に変更したいトラック情報がある場合は変更して下さい。
8. [OK] をクリックします。
   入力した情報に更新されます。

複数のトラックを編集するには、

1. Creative MediaSource オーガナイザが起動していない場合は起動します。
2. [コンテンツ] ウインドウから、編集を行いたいトラックを複数選択し、右クリックします。
3. アーティストを入力したい場合は [アーティストの編集] 、ジャンルを入力したい場合は [ジャンルの編集] を選択します。
4. 新しいアルバム、アーティスト、または、ジャンルを入力します。
5. [OK] をクリックします。

音楽 CD を取り込む

CDDB サーバーを利用すれば、音楽 **CD** のトラック情報を手動で入力しなくても、**CDDB** サーバーから得ることができます。

音楽 **CD** を取り込む際のファイル形式やビットレート等は手動で設定することができます。詳細は **Creative MediaSouce** のオンラインヘルプを参照して下さい。

音楽 CD のトラックを MP3、または WMA 形式でパソコンに取り込むには、最初にトラックのデジタルデータを音楽 CD から抽出なければなりません。抽出にはデジタルオーディオ抽出に対応した CD-ROM ドライブと、抽出のためのアプリケーションソフトが必要です。本製品に付属している Creative MediaSource を使えば、一部のコピープロテクションのかかった CD を除く、多くの音楽 CD からデジタルオーディオの抽出、MP3・WMA 形式での取り込みができます。

オーディオデータの抽出速度は、以下の要素によって決まります。

❍ CD-ROM ドライブの速度
❍ 音楽 CD の表面の具合（傷などがある場合は、抽出に時間がかかる場合があります）
❍ CD-ROM ドライブのエラー検出機能

抽出されたオーディオデータは、次にエンコーダーという圧縮プログラムによって MP3・WMA 形式に変換されます。MP3 と WMA は不可逆圧縮方式であり、一度変換されたデータは元のデータと完全に一致しません。しかしながら、十分なビットレートを確保することによって聴覚上は何の違いも感じられないようになります。通常音楽 CD クオリティーは 128kbps と言われていますが、160kbps、192kbps といった高いビットレートを使えば、よりソースに近い音質になります。

音楽 CD は、プレーヤー、コンピューターのハードディスク、および Creative MediaSource の PC ミュージックライブラリに取り込むことができます。取り込みは 1 枚の CD を丸ごと、またはトラック単位で可能です。

音楽 CD からデジタルデータを抽出するには

1. 音楽 CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Creative MediaSource オーガナイザが起動していない場合は起動します。
3. 画面左の [ソース] ウインドウで音楽 CD を挿入した CD-ROM ドライブをクリックして選択します。
4. 画面中央上部にある、タスクバーの ［直ちにリッピング］ボタンをクリックします。

トラック単位で取り込む

1. 音楽 CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Creative MediaSource オーガナイザが起動していない場合は起動します。
3. 画面左の [ソース] ウインドウで音楽 CD を挿入した CD-ROM ドライブをクリックして選択します。
4. 画面中央の [コンテンツ] ウインドウにて、取り込みたいトラックを選択します。
   CTRL キー、またはシフトキーを押しながら左クリックをすることで、複数のトラックを選択することができます。
5. 選択したトラックをマウスでドラッグしながら、画面右の [転送先ウインドウ] にある [PC ミュージックライブラリ] へドロップして下さい。
   [転送リスト] ウインドウが表示され、現在の取り込み状態を確認することができます。

4 プレーヤーの使い方

プレーヤーの使い方

プレーヤーには Music、Recordings、Microphone、または FM Radio モードの 4 つの動作モードがあります。Music モードでは MP3・WMA ファイルの再生を行います。Recordings モードではマイクロフォン、または FM ラジオから録音から録音したファイルの再生を行います。各モードを切り替えるには 4-2 ページの「モードを切り替える」を参照して下さい。

プレーヤーには再生順を変えるための各種プレイモードも備わっています。詳細は 4-5 ページの「再生モードの変更」を参照して下さい。

プレーヤーの電源を入れる／切る

再生順はトラックのファイル名（英数字順）によって決まります。

プレーヤーの電源を入れるには

プレーヤーの電源が入るまで、Play ／ Pause ボタン を押し続けます。

CREATIVE ロゴが液晶画面に現れ、続いて MuVo Slim ロゴが表示されます。プレーヤーは前回設定されたモードに自動的に変わります。

プレーヤーの電源を切るには

Power off が液晶画面から消えるまで、Play ／ Pause ボタン を押し続けます。

モードを切り替える

1. スクローラを押します。
   図 4-1 の画面が表示されます。

図 4-1

2. Music アイコン 、Recordings アイコン 、
   Microphone アイコン 、または FM Radio アイコン
   を選択します。

トラックを再生する

トラックを再生するには

1. スクローラを押します。
   図 4-2 のようなメインメニューが表示されます。

図 4-2

2. Music アイコンをスクロールセレクトします（図 4-3）。
3. 再生したいトラックをスクロールセレクトします。選択されたトラックの再生が自動的に始まります。トラック再生時には液晶画面は図 4-4 のようになります。

図 4-3

プレーヤーにトラックが **1** つもない場合は、液晶画面に「**No music**」と表示されます。

トラックをプレーヤーに転送するには、**3-2** ページの「音楽やファイルの転送」を参照して下さい。

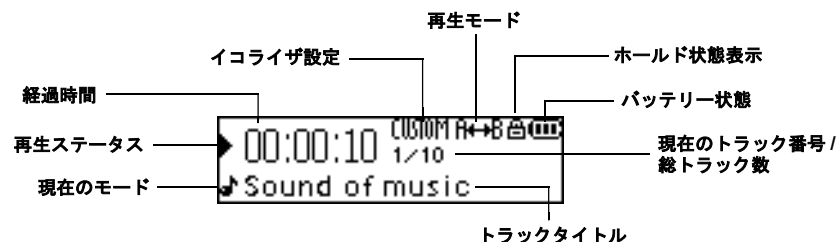



図 4-4

トラックを一時停止するには

Play/Pause ボタン ▶/II を押します。

前のトラックに移動するには

スクローラを左方向 I◀ に回します。

次のトラックに移動するには

スクローラを右方向 ▶I に回します

トラックの再生を停止するには

1. Play/Pause ボタン ▶/II を押すと、トラックが一時停止します。
2. スクローラを左右どちらかに回して下さい。
   Stop アイコン ■ が液晶画面に表示されます。

フォルダを スキップする

フォルダのスキップは **Music** モードでのみ実行可能です。

プレーヤーからはルートディレクトリから **1** 階層下のサブフォルダまでしか認識できません。

アルバムが多数ある場合、各アルバムのトラックをそれぞれ 1 つのフォルダにまとめてプレーヤーに転送すると、管理が非常に楽になります。その中から特定のフォルダ中のトラックを再生したい場合は次の手順に従って下さい。なお、そのフォルダで最後の曲の再生が終了すると、次のフォルダに収録されている曲の再生がスタートします。

フォルダを選択するには

1. スクローラを押します。
   図 4-5 のようなメインメニューが表示されます。

図 4-5

2. Skip Folder アイコン（図 4-6）をスクロールセレクトして下さい。Skip Folder アイコン が再度表示されます。
3. 再生したいフォルダをスクロールセレクトします。

図 4-6

再生モードの変更

プレーヤーにはトラックの再生順を変更するための複数の再生モードが実装されています。再生モードは Music、または Recordings モードにおいて、音楽やボイス録音、または録音した FM ラジオを再生する際に変えることができます。

複数のモードを同時に選択することはできません。

再生モードの変更は、**Music** または **Recordings** モードにおいて、**MP3**・**WMA** ファイルやボイスレコーディング、録音した **FM** ラジオを再生している時のみできます。

プレーヤーには次の再生モードが用意されています。

- A-B
- Repeat Track
- Repeat All
- Repeat Folder（Music モードでのみ選択可）
- Track Once
- Shuffle Repeat
- Shuffle Once
- Shuffle Folder（Music モードでのみ選択可）
- Normal

4-9 ページの「全てのトラックを再生する」にある通り、Normal モードを選択すると、これまで選択してい再生モードは解除されます。

トラックをリピート再生する

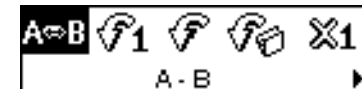
プレーヤーには再生中のトラックをリピート、フォルダ単位でのリピート、全てのトラックをリピート、また、トラックの任意の区間リピート等、さまざまなリピートモードが用意されています。

1. スクローラを押します。

図 4-7

2. Play Mode アイコン（図 4-7）をスクロールセレクトします。
   リピートモードのリスト（図 4-8）が表示されます。

図 4-8

各モードの詳細については、下記を参照して下さい。

トラックの任意の区間をリピート再生する

> マーキングできる部分は 1 区間のみです。複数の区間をマーキングすることはできません。新たな区間をマーキングすると、それまでマーキングされていた箇所は解除されます。

1. A-B アイコン（図 4-9）をスクロールセレクトします。

   次のようなアイコン A↔B が液晶画面に表示されます。

図 4-9

2. スクローラをトラックの始点となる部分で押します。次のようなアイコン A↔B が液晶画面に表示されます。
3. 終点にしたい箇所で再度スクローラを押して下さい。次のようなアイコン A↔B が液晶画面に表示されます。以降は始点と終点の間の区間が繰り返し再生されます。
4. 通常の再生に戻したい場合は、4-9 ページの「全てのトラックを再生する」に記述されているように、再生モードに 「Normal」を選択して下さい。

現在画面に表示、または再生されているトラックをリピート再生する

Repeat Track をメニューからスクロールセレクトします（図 4-10 参照）。

Repeat Track アイコン ↻1 が液晶画面に表示され、再生を停止するか、別のフォルダに移動するまでは現在のトラックが繰り返し再生されます。

図 4-10

プレーヤーに保存されている全てのトラックをリピート再生する

Repeat All アイコン（図 4-11 参照）をスクロールセレクトします。

次のような Repeat All アイコン ↻ が液晶画面に表示され、再生を停止するまでプレーヤーに保存されている全てのトラックがリピート再生されます。

図 4-11

フォルダ内のトラックをリピート再生する

Repeat Folder は **Music** モードにおいてのみ選択できます。

Repeat Folder アイコン（図 4-12 参照）をスクロールセレクトします。

Repeat Folder アイコン が液晶画面に表示されます。再生を停止するか、または別のフォルダに移動するまで、そのフォルダ内の全てのトラックがリピート再生されます。

図 4-12

トラックを一度だけ再生する

Track Once モードを有効にすると、トラックの再生が終わるとプレーヤーは停止します。

1. スクローラを押します。

図 4-13

2. Play Mode アイコン（図 4-13 参照）をスクロールセレクトします。
   メニューのリスト（図 4-14）が表示されます。

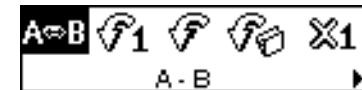



図 4-14

3. Track Once アイコン（図 4-15 参照）をスクロールセレクトします。

   Track Once アイコン X1 が液晶画面に表示されます。トラックの再生が終了すると、プレーヤーは停止します。

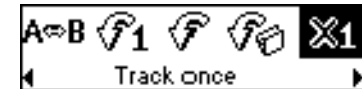



図 4-15

トラックをシャッフル再生する

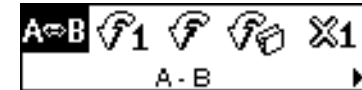
プレーヤーはトラックをランダムな順番で再生することができます。

1. スクローラを押します。
2. Play Mode アイコン（図 4-16）をスクロールセレクトします。
   メニューのリスト（図 4-17）が表示されます。

図 4-16

各モードの詳細については、下記を参照して下さい。

図 4-17

プレーヤーに収録されている全てのトラックを連続してシャッフル再生する

メニューから Shuffle Repeat アイコン（図 4-18）をスクロールセレクトします。

Shuffle Repeat アイコン が液晶画面に表示され、再生を停止するまでプレーヤーに収録されている全てのトラックを対象に、シャッフル再生を行います。

図 4-18

プレーヤーに収録されている全てのトラックを 1 度だけシャッフル再生する

メニューから Shuffle Once アイコン（図 4-19）をスクロールセレクトします。

Shuffle Once アイコン が液晶画面に表示され、再生を停止するまでプレーヤーに収録されている全てのトラックを対象に、1 度だけシャッフル再生を行います。全ての曲の再生が終了すると、再生は停止されます。

図 4-19

フォルダ内に収録されている全てのトラックを 1 度だけシャッフル再生する

Shuffle Folder アイコン（図 4-20）をスクロールセレクトします。

Shuffle Folder アイコン が液晶画面に表示され、フォルダ内の全てのトラックを対象に、一度だけシャッフル再生を行います。全ての曲の再生が終了すると、再生は停止されます。

図 4-20

全てのトラックを再生する

Normal モードが選択されると、プレーヤーに収録されている全てのトラックが通常の再生順（英数字順）で再生されます。

1. スクローラを押します。

図 4-21

2. Play Mode アイコン（図 4-21 参照）をスクロールセレクトします。
   メニューのリストが表示されます（図 4-22）。

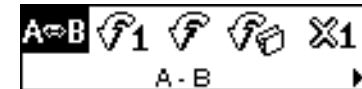



図 4-22

3. Normal アイコン（図 4-23 参照）をスクロールセレクトします。
   全てのトラックが通常の再生順で再生されます。

図 4-23

FM ラジオを聴く

プレーヤーにユーザー指定のプリセットチャンネルがない場合、**"No preset found"** というメッセージが液晶画面に表示されます。

プレーヤーは FM ラジオチューナーを内蔵しており、お好みの FM ラジオプログラムを受信することができます。プレーヤーはその地域で受信可能な局を自動的にスキャニングすることができ、お気に入りの局をプリセットとして保存することができます。FM ラジオモードでは液晶画面に現在の局の周波数、及びプリセットの番号が表示されます。

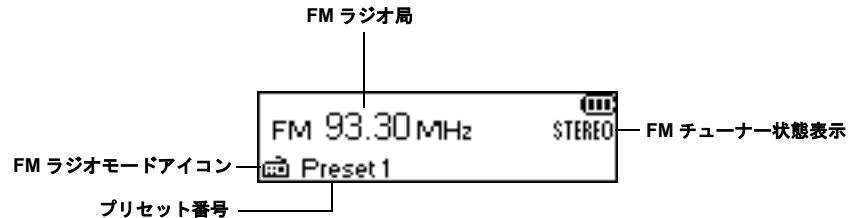



図 4-24

地域を変更するには

初めて FM ラジオ局をスキャニングする前に、次の手順に従って地域の設定を行って下さい。

1. スクローラを押します。
   メインメニュー（図 4-25 を参照）がされます。

図 4-25

2. Settings アイコン（図 4-26 を参照）をスクロールセレクトします。
   プレーヤー設定のリストが表示されます。

図 4-26

3. FM Region アイコン（図 4-27）をスクロールセレクトします。選択できる地域のリストが表示されます。
4. お住まいの地域をスクロールセレクトして下さい。

図 4-27

FM ラジオ局の自動検索と自動保存機能を使用するには

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-28 参照）を表示させせます。

図 4-28

2. FM Radio アイコン（図 4-29 参照）をスクロールセレクトします。
   FM ラジオ局の周波数（図 4-30）が液晶画面に表示されます。

図 4-29

3. 再度スクローラを押します。

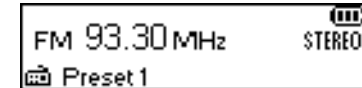



図 4-30

4. Autoscan アイコン（図 4-31 参照）をスクロールセレクトします。
   プレーヤーは受信可能なラジオ局を検索して、プリセットとして記録します。検索が完了すると、最初に記録されたラジオ局から受信を開始します。

図 4-31

ラジオ局を選択するには

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-32 参照）を表示させせます。

図 4-32

2. FM Radio アイコン（図 4-33 参照）をスクロールセレクトします。
   液晶画面に FM ラジオ局の周波数（図 4-34 参照）が表示されます。

図 4-33

プリセットが画面に表示されない場合、プレーヤーの再生 / 一時停止ボタンを一度押してみて下さい。

3. スクローラを左右に回して、プリセットを選択して下さい。

図 4-34

手動でラジオ局を検索するには

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-35 参照）を表示させせます。

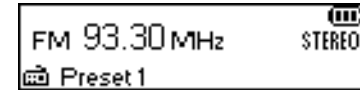



図 4-35

2. FM Radio アイコン（図 4-36 参照）をスクロールセレクトします。
ラジオ局の周波数（図 4-37）が液晶画面に表示されます。

図 4-36

3. 画面にプリセットが表示されている場合、プレーヤーの再生 / 一時停止ボタン ▶/II を押し、手動検索画面に移行します。プリセットは表示されません。

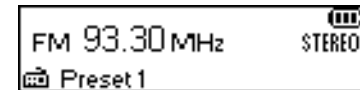



図 4-37

4. スクローラを右 ▶▶ に回すと周波数が上がり、左 ◀◀ に回すと周波数が下がります。
5. ラジオ局を検索するには、スクローラを左、または右に回し、そのまま 1 秒ほど押し続けます。

6. ラジオ局が見つかったら、スクローラを押します。
7. Save Preset（図 4-38 参照）アイコンをスクロールセレクトします。
8. スクローラを回して、見つかったラジオ局を保存するためのプリセットを選択します。スクローラを押してプリセットに保存します。プリセット番号は液晶画面の左下に表示されます。

図 4-38

9. 他のラジオ局をプリセットに保存する場合は、以降ステップ 2 から 6 を繰り返して下さい。

プリセットを削除するには

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-39 参照）を表示させせます。

図 4-39

2. FM Radio アイコン（図 4-40 参照）をスクロールセレクトします。
   プリセットとそのラジオ局の周波数（図 4-41 参照）が液晶画面に表示されます。

図 4-40

プリセットが液晶画面に表示されない場合、再生 / 一時停止ボタンを一度押して下さい。

3. スクローラを回して、削除したいプリセットを選択します。
4. 削除したいプリセットを選択したら、スクローラを押します。

図 4-41

5. Delete Preset アイコン（図 4-42 参照）をスクロールセレクトします。

図 4-42

6. Delete Preset x（図 4-43 参照。x は削除したいプリセット番号）をスクロールセレクトして、プリセットを削除します。以降プレーヤーは次のプリセットのラジオ局から受信を開始します。

図 4-43

FM プリセット画面と手動サーチ画面を切り替えるには

FM プリセット画面においては、登録されているプリセットが表示され、スクローラを使ってそれらのプリセットを選択することができます。手動で周波数をサーチするには、手動サーチ画面に切り替える必要があります。手動サーチ画面では、プリセットは表示されません。

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-44 参照）を表示させせます。

図 4-44

2. FM Radio アイコン（図 4-45 参照）をスクロールセレクトします。
   液晶画面に FM ラジオの周波数が表示されます（図 4-46 参照）。

図 4-45

3. スクローラを押します。

FM 93.30 MHz STEREO
Preset 1

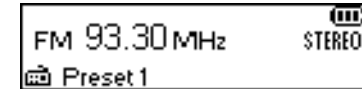



図 4-46

4. Scroller Mode アイコン（図 4-47）をスクロールセレクトして、FM プリセット画面と手動サーチ画面を切り替えて下さい。
   画面の切り替えは、FM ラジオを受信している間、再生 / 一時停止ボタン ▶/II を押すことでもできます。

図 4-47

録音機能を使う

MuVo Slim プレーヤーには、マイクロフォンを使ったボイス録音機能と、受信中の FM ラジオを録音する機能が搭載されています。ボイス録音には IMA ADPCM 形式（4bit、8kHz、モノラル）が使用され、FM ラジオの録音にも IMA ADPCM 形式（4bit、16kHz、ステレオ）が使用されます。

録音可能な時間には、次の要素により決まります。
- ❍ プレーヤーのメモリー残量
- ❍ プレーヤーのバッテリー残量

ボイス録音機能を使う

ボイス録音を行う際は、液晶画面の下側に録音可能な残り時間を示すバーが表示され、画面中央には録音の経過時間を示すカウンターが表示されます。また、マイクロフォンのアイコンが液晶画面左下に表示されます。

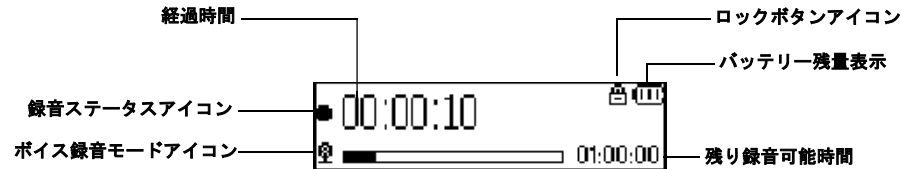



図 4-48

ボイス録音は一時停止できません。

ボイス録音を行うには

1. スクローラを押して、メインメニューを表示させます（図 4-49 参照）。

図 4-49

2. Microphone アイコン（図 4-50）を表示させます。
液晶画面が図 4-51 の画面に変わります。

図 4-50

3. 再生 / 一時停止ボタン ▶/II を押して、録音を開始します。
4. もう一度再生 / 一時停止ボタン ▶/II を押して、録音を停止します。録音された音声は自動的に名前が付けられ、プレーヤーにボイス録音ファイルとして保存されます。名前は次のような形式になります：VOC[ファイル番号]

FM ラジオを録音する

FM ラジオの録音を行う際は、液晶画面の下側に録音可能な残り時間を示すバーが表示され、画面中央には録音の経過時間を示すカウンターが表示されます。また、FM ラジオのアイコンが液晶画面左下に表示されます。

図 4-51

FM ラジオを録音するには

FM ラジオの録音中は一時停止はできません。

プリセットが画面に表示されない場合は、再生 / 一時停止ボタンを押して下さい。

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-52 参照）を表示させせます。

図 4-52

2. FM ラジオアイコン（図 4-53 参照）をスクロールセレクトします。
   FM ラジオの周波数が液晶画面に表示されます（図 4-54 参照）。

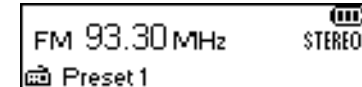
図 4-53

3. スクローラを回して、受信したいラジオ局のプリセットを選択します。
4. スクローラを押して録音を開始します。

図 4-54

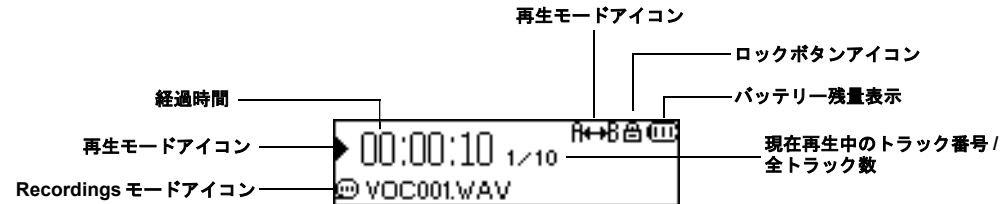
5. FM Recordings アイコン（図 4-55）をスクロールセレクトします。
6. 再生 / 一時停止ボタンを押して録音を停止します。録音された FM ラジオ音声は自動的に名前が付けられ、プレーヤーに録音ファイルとして保存されます。名前は次のような形式になります：FM[ファイル番号]

図 4-55

録音した FM ラジオをプレーヤーで再生するには、4-18 ページの「録音したファイルを再生する」を参照して下さい。

録音したファイルを再生する

ボイス録音や FM ラジオを録音したファイルの再生は、プレーヤーの Recordings モードでできます。Recordings モード（図 4-56 参照）では、画面に経過時間、トラック番号、そして再生中のファイルのファイル名が表示されます。

図 4-56

ボイス録音機能で録音したファイルはファイル名に **"VOC"** が、**FM** ラジオを録音したファイルはファイル名に **"FM"** が付きます。

録音したファイルを再生する

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-57 参照）を表示させます。

図 4-57

2. Recordings アイコン（図 4-58 参照）をスクロールセレクトします。
3. 再生したいファイルをスクロールセレクトして、再生が開始されます。

図 4-58

録音したファイルを削除したい場合は、4-21 ページの「ファイルを 削除する」を参照して下さい。

イコライザ設定

音をカスタマイズする

イコライザ設定は **Music** モードにおいてのみ可能です

プレーヤーにはイコライザ機能が搭載されており、音楽の種類に合わせて、お好みの音質に調節することができます。イコライザには、次のモードが用意されています。

- Rock（ロック）
- Pop（ポップス）
- Classical（クラシック）
- Jazz（ジャズ）
- Custom EQ（カスタム）
- Normal（ノーマル）

イコライザ設定は現在再生中のトラックに適用することができます。下記の手順に従って、設定画面を開いて下さい。

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-59 参照）を表示させます。

図 4-59

2. EQ アイコン（図 4-60 参照）をスクロールセレクトします。

図 4-60

イコライザの各モードは、次のように設定します。

Rock、Pop、Classical、Jazz、または Normal の場合

選択したいモードをスクロールセレクトして下さい。
選択したモードのアイコンが、画面に表示されます。

カスタムイコライザを使って、お好みのイコライザ設定を作る場合

1. Custom EQ アイコン（図 4-61 参照）をスクロールセレクトします。
   Custom EQ アイコン（図 4-62）が液晶画面に表示されます。

図 4-61

2. 液晶画面に、5 つのスライダーが表示されます。スライダーは低音用に 62Hz、中低音用に 250Hz、中音用に 1kHz、中高音用に 4kHz、高音用に 16kHz がそれぞれお用意されています。
3. 設定したいスライダーをスクロールセレクトします。続いてスクローラを左右に回すと、選択したスライダーが上下に動きます。最適な設定ができたら、スクローラを押してその他のスライダーを調節します。

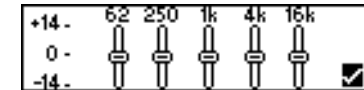



図 4-62

4. 全ての設定が完了したら、チェックマークのアイコンをクリックいて、Custom EQ 画面を抜けて下さい。

ファイルを削除する

この処理を行うと、プレーヤーからファイルは完全に消去されます。

音楽・録音ファイルを削除するには

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-63 参照）を表示させます。

図 4-63

2. Music アイコン または Recordings アイコン をスクロールセレクトします。
3. Music モードまたは Recordings モードで、音楽ファイル、ボイス録音ファイル、FM ラジオ録音ファイルを選択します。
4. スクローラを押します。
5. Delete アイコン（図 4-64 参照）をスクロールセレクトします。メニューが表示されます。

図 4-64

6. Confirm Delete アイコン（図 4-65 参照）をスクロールセレクトします。選択した音楽ファイル、ボイス録音ファイル、FM ラジオ録音ファイルはプレーヤーから完全に消去されます。

図 4-65

ユーザー設定

プレーヤーにはプレーヤーをカスタマイズするためのさまざまな設定項目が用意されています。下記の項目をプレーヤーは変更、もしくは参照することができます。

❍ コントラスト設定
❍ バックライト消灯時間
❍ 言語
❍ FM ラジオの地域
❍ シャットダウンまでのアイドル時間
❍ プレーヤーの情報（ファームウェア等）

1. スクローラを押してメインメニュー（図 4-66 参照）を表示させます。

図 4-66

2. Settings アイコン（図 4-67）をスクロールセレクトします。

図 4-67

個別の設定に関しては、下記を参照して下さい。

液晶画面のコントラストレベルを変更するには

1. Contrast アイコン（図 4-68）をスクロールセレクトします。コントラスト設定画面が表示されます。

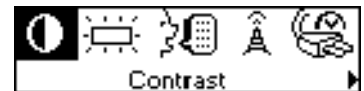



図 4-68

2. スクローラを回して、レベルを調節して下さい。数値が低ければコントラストは低くなります。

図 4-69

バックライト消灯時間を変更するには

1. Backlight アイコン（図 4-70）をスクロールセレクトします。

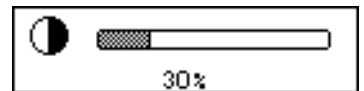



図 4-70

2. 3/5/10/15 秒、もしくは OFF（バックライトを使用しない）をスクロールセレクトして下さい。消灯までの時間が短ければ、バッテリーの寿命もその分長くなります。

言語を変更するには

1. Language アイコン（図 4-71）をスクロールセレクトします。
2. 選択したい言語をスクロールセレクトします。

図 4-71

FM ラジオの地域を変更するには

1. FM Region アイコン（図 4-72）をスクロールセレクトします。メニューが表示されます。
2. お住まいの場所に当てはまる地域を選択して下さい。

図 4-72

プレーヤーの電源が切れるまでのアイドリング時間を設定するには

1. Idle Shutdown アイコン（図 4-73 参照）をスクロールセレクトします。
2. プレーヤーの電源が切れるまでのアイドリング時間をスクロールセレクトします。ここで設定した時間の間に何も操作がない場合、プレーヤーの電源が自動的に切れます。

図 4-73

プレーヤーのファームウェアのバージョン、メモリーの総容量と空き容量、総トラック数を参照するには

1. Information アイコン（図 4-74）をスクロールセレクトします。
2. スクローラを回して、参照したい情報を切り替えます。

図 4-74

プレーヤーのロックとロック解除

プレーヤーをロックすると、全てのボタンが使用不可になります。電車などの混雑で、ボタンが勝手に押されないようにしたい場合などに便利な機能です。

プレーヤーのロック中に何かボタンを押すと、ロックを解除する旨を聞いてくるメッセージが表示されます。ここで 5 秒間何も操作がない場合、このメッセージは消えます。

プレーヤーをロックするには

1. スクローラを押して、メインメニュー（図 4-75）を表示させます。

図 4-75

2. Lock アイコン（図 4-76）をスクロールセレクトします。これでプレーヤーはロックされます。プレーヤーの液晶画面、Lock アイコン が表示されます。

図 4-76

プレーヤーのロックを解除するには

1. プレーヤーがロックされている状態で、何かボタンを押すと、図 4-77 のようなメニューが表示されます。
2. Unlock アイコンをスクロールセレクトして、プレーヤーを解除します。

図 4-77

プレーヤーをフォーマットする

Windows XP、および **2000** ではフォーマットする際、ファイルシステムの項目が表示されますが、このファイルシステムには必ず **FAT** を選択して下さい。**FAT** 以外（**FAT32** 等）は選択しないで下さい。

プレーヤーのフォーマットは Windows のエクスプローラやマイコンピュータから簡単に行うことができます。フォーマットをするとプレーヤーに保存してあるファイルは全て削除されますので、必要なファイルは必ずバックアップしておいて下さい。また、故障の原因となりますので、フォーマット中は USB ケーブルを外さないで下さい。

プレーヤーをフォーマットするには

1. プレーヤーを付属 USB ケーブルで用いてコンピューターに接続します。
2. Windows のエクスプローラ、またはマイコンピュータを開いて、プレーヤーが割り当てられているドライブを探します。
3. ドライブのアイコンを右クリックし、フォーマットを選択します。
図 4-78 のようなダイアログが表示されます。
4. 開始ボタンをクリックします。

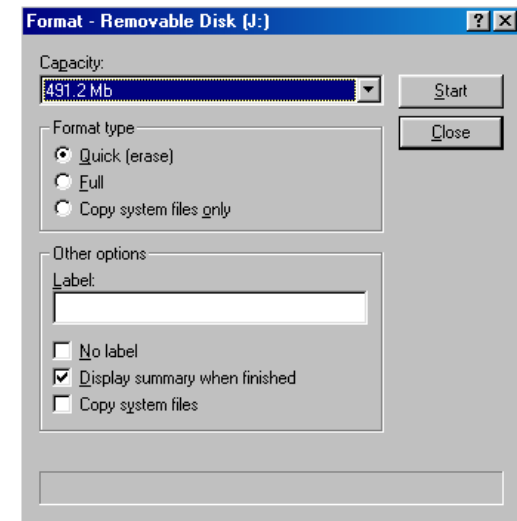



図 4-78

A 技術仕様

技術仕様

プレーヤー

サイズ（幅×高さ×奥行き）

- ❑ MuVo Slim 128 MB: 約 55.0 mm x 85.0 mm x 7.0 mm
- ❑ MuVo Slim 256 MB: 約 55.0 mm x 85.0 mm x 7.0 mm
- ❑ MuVo Slim 512 MB: 約 55.0 mm x 85.0 mm x 8.0 mm
- ❑ MuVo Slim 1.0 GB: 約 55.0 mm x 85.0 mm x 8.0 mm

重量

- ❑ 34 g（電池非装着時）、46 g（リチウム充電池装着時）

内蔵メモリー

- ❑ 128/256/512 MB /1.0 GB 内蔵メモリー

電池のタイプ

- ❑ リチウム充電池 1 個

電池の寿命（連続再生時間）

- ❑ MP3 128 kbps の場合は、新しい単 4 アルカリ乾電池で最大 17 時間の連続再生が可能。
- ❑ WMA 64 kbps の場合は、新しい単 4 アルカリ乾電池で最大 15 時間の連続再生が可能。
  以下の要因で再生時間が短かくなる場合があります。
  - 再生中にトラックをスキップしたり、先送り / 巻き戻しを繰り返したりする
  - パッシブスピーカーまたはインピーダンスの高いヘッドフォンを使用する
  - バックライトのタイムアウトを長く設定する
  - WMA ファイル、または高ビットレートのファイルを再生する
- ❑ FM ラジオの録音はバッテリーが完全に充電された状態であれば、最大で連続 18 時間行うことができます。

インターフェース

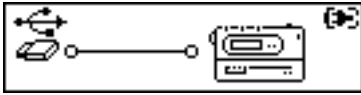
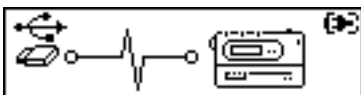
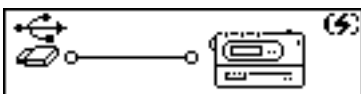
- ❑ USB 1.1 以上

再生フォーマット

- ❑ MP3（32 ～ 320kbps、可変ビットレート対応）
- ❑ WMA（64 ～ 160kbps）
- ❑ WMA。および著作権保護付きの WMA にも対応（サンプリング周波数：16、22.05、24、32、44.1kHz）

レコーディング形式	❑ ボイス：IMA ADPCM（8 kHz、4-bit、モノラル） ❑ FM ラジオ：IMA ADPCM（16 kHz、4-bit、ステレオ）
SN 比	❑ > 90 dB（ヘッドフォン）
チャンネル セパレーション	❑ > 60 dB（ヘッドフォン）
再生周波数	❑ 24 Hz ～ 20000 Hz
全高調波歪率	❑ 0.05% 未満
動作環境温度	❑ 0 ℃～ 45 ℃
保存環境温度	❑ -20 ℃～ 60 ℃
オペレーティング システム / ファーム ウェア	❑ プログラマブル（OS/ ファームウェアのサポートおよび更新については、http://japan.creative.com/support/drivers/ をご覧ください。）
ヘッドフォン出力端子	❑ ステレオミニジャック× 1、5 ～ 7 mW
液晶画面	❑ モノクロ ❑ 132 × 32 ピクセル ❑ EL バックライト付き液晶
バッテリー充電	❑ USB ポート経由

USB バッテリー チャージャー（別売り）

- DC5V、1.5A

B 画面上の図およびアイコンについて

画面上の図およびアイコンについて

画面に表示される図

図	動作 / 意味
	❍ プレーヤーはコンピューターに接続されています。プレーヤーを使用するには、コンピューターから外して下さい。
	❍ プレーヤーにファイルを転送中です。
	❍ 充電中です。

再生アイコン

これらのアイコンは、対応するオーディオ機能が有効な場合に表示されます。

アイコン	動作 / 意味
▶	❍ 再生
❚❚	❍ 一時停止
❚◀	❍ 後ろへスキップ
▶❚	❍ 先へスキップ
◀◀	❍ 後戻し
▶▶	❍ 先送り
●	❍ 録音
■	❍ 停止

再生モード アイコン

アイコン	動作 / 意味
A↔B	❍ トラックの任意の区間をリピート再生
	❍ リピート（現在再生中のトラックを繰り返し再生）
	❍ 全リピート（再生リストの最後の曲が終わると、最初から繰り返し再生）
	❍ Repeat Folder（指定したフォルダ内の曲を繰り返し再生）
	❍ トラックを一度だけ再生
	❍ ランダム（プレーヤーを止めるまでずっとシャッフルしながら再生）
	❍ シャッフル（再生リストの全ての曲をシャッフルして 1 回だけ再生）
	❍ Shuffle Folder（指定したフォルダ内の曲をシャッフルして再生）

エラーを示す図

エラーが発生すると以下のいずれかの図が表示され、以下の画面が示されます。

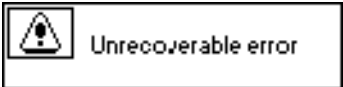
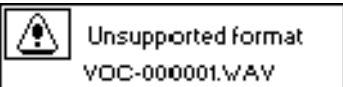



図	内容	対処方法
Hardware error	❍ 物理的欠陥 ❍ 度重なる強度の衝撃	❍ テクニカルサポートに連絡する
Firmware error	❍ 設定の保存中に起きた停電	❍ 最新のファームウェアにアップデートする ❍ ファームウェアをリロードする ❍ テクニカルサポートに連絡する
Unrecoverable error	❍ プレーヤーで選択した操作（ファイルの削除など）を実行できない	❍ プレーヤーのメモリーをクリアする ❍ テクニカルサポートに連絡する
Unsupported format VOC-000001.WAV	❍ サポートされないファイル形式	❍ 再生しようとしているファイルが .WMA、.MP3、または、録音した音声ファイルであることを確認

図	内容	対処方法
File system error	❍ 対応していないファイルシステムでプレーヤーがフォーマットされている ❍ ファイルシステムが破損している	❍ 録音した音声ファイルが破損されていないことを確認 ❍ プレーヤーのメモリーをクリアする ❍ フォーマット形式に FAT が選択されているかどうかを確認する
No free space	❍ プレーヤーのハードディスクの空き容量が少ない	❍ 不要なファイルを削除する
	❍ 電池の電力量が残り少ない	❍ 乾電池を交換する
	❍ 電池の消耗によりプレーヤーを起動できない	❍ 新しい乾電池を挿入する

C FAQ およびトラブルシューティング

FAQ およびトラブルシューティング

自動再生

Windows 98 SE / Me でインストール CD を挿入しても自動的に起動しません。

Windows の CD 自動再生機能が有効になっていない場合があります。

マイ コンピュータへのショートカットアイコンからインストールプログラムを起動する

1. Windows デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
2. CD-ROM ドライブアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから [自動再生] をクリックします。
3. 画面の指示に従います。

挿入の自動通知からの自動再生を有効にする

1. [スタート] から [設定] をクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
2. [システム] アイコンをダブルクリックします。[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
3. [デバイス マネージャ] タブをクリックし、CD-ROM ドライブを選択します。
4. [プロパティ] ボタンをクリックします。
5. [設定] タブをクリックし、[挿入の自動通知] を選択します。
6. [OK] をクリックします。

Windows エクスプローラからインストールプログラムを起動する

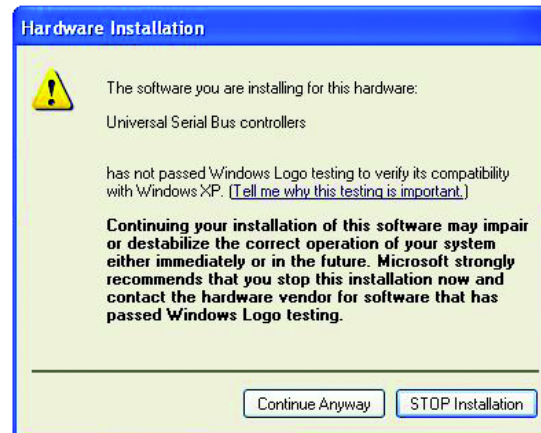
1. Windows エクスプローラを起動し、**d:¥ctrun** フォルダを検索します。ここで「d:¥」は、ご使用のコンピュータの CD-ROM ドライブの文字を表しています。
2. **ctrun.exe** ファイルをダブルクリックします。

一般

NOMAD 製品すべてに関する公式情報はどこで入手できますか？

すべての Jukebox 製品、Creative 社の MP3 プレーヤーおよびアクセサリに関する最新情報とダウンロードを NOMADworld でご提供しております。
japan.creative.com をご覧ください。

Windows XP で、プレーヤー付属のソフトウェアが認証を受けていないと表示されます。どのような対処が適切ですか？

Microsoft 社は Windows XP 対応のサードパーティー製品に対し、Microsoft 社制定する認定プログラムを受けることを強く推奨しており、ハードウェア機器のドライバが提出されなかった場合、又は、同認定に合格されなかった場合、Creative ドライバのインストール時に、この警告メッセージが表示されるかもしれません。

その場合は [続行] ボタンをクリックしてください。弊社では本製品を Windows XP 上において厳重なテストを行っており、Creative は本製品がお使いのコンピュータの動作に悪影響を及ぼさないことを確認しております。XP に関するさらに詳しい情報が必要な場合は、弊社 Web サイトの製品のサポート情報や FAQ を参照するか、弊社のテクニカルサポートスタッフにご連絡ください。

使用方法

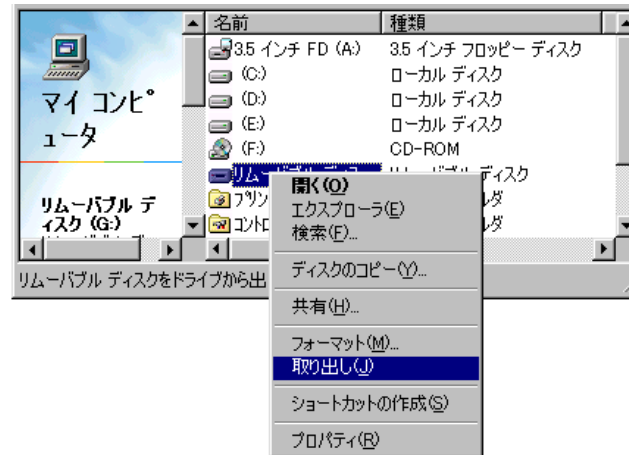
最初の数トラックを再生した後、再生が行われないトラックがあります

プレーヤーが再生できるのは、MP3、著作権保護（DRM）が付いていない WMA、または WAV 形式のファイルのみです。他の形式はスキップされます。

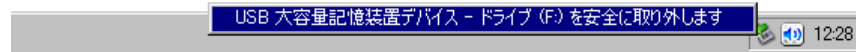
プレーヤーに転送したファイルや音楽が破損している

ファイルの転送中に転送が中断された可能性があります。プレーヤーをコンピューターから取り外す前に、安全に取り外しができる状態になっているかを確認して下さい。

Windows 98 SE の場合

- Windows エクスプローラにおいて、[リムーバブルディスク] アイコンを右クリックして、[取り出し] を選択して下さい。安全に取り外せる状態になったら、プレーヤーを取り外して下さい。

Windows Me、2000、XP の場合

- Windows のタスクトレイにある、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン をクリックして、[USB 大容量記憶装置デバイス～を安全に取り外します] をクリックしてください。安全に取り外せる状態になったら、プレーヤーを取り外して下さい。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します
12:28

プレーヤーへのファイル転送速度が遅い（100kbps 未満）

プレーヤーをフォーマットしてみて下さい。フォーマットの方法については 4-25 ページの「プレーヤーをフォーマットする」を参照して下さい。

データストレージとして MuVo Slim を使用できますか？

はい、できます。

電池を頻繁に交換しなくてはなりません。電池を長持ちさせる方法はありますか？

次のような操作によって、電池の消費が早くなります：

- バックライト消灯までの時間が長く設定されている。短く設定すれば、電池を節約することができます。
- コントラストが高い。必要以上にコントラストが高くなっている場合は、適切なレベルにまで下げて下さい。
- 先送り / 後戻しの多用
- プレーヤーの電源を頻繁に ON/OFF にする
- パッシブスピーカーやインピーダンスの高いヘッドフォンを使う
- .WMA ファイルを再生する

著作権保護付きの WMA ファイルについて

Creative MuVo Slim 上で、著作権保護（**DRM**）の付いた **WMA** ファイルを再生することはできますか？

著作権保護（DRM）の付いた WMA ファイルの再生はできません。